

平成 30 年 12 月愛西市議会定例会

平成30年度愛西市補正予算の概要は、次のとおりです。

◎平成30年度愛西市一般会計補正予算(第3号)

【歳出】

1 総務費関係では、

- (1) 電子計算費で、市役所に上水道課を移転するため、電算事務委託料 2,613 千円を計上しました。
- (2) 戸籍住民基本台帳費で、旅券発給事業を新設し、業務開始のための備品購入費等 1,921 千円を計上しました。

2 民生費関係では、

- (1) 社会福祉総務費で、受給者の増加に伴い在宅障害者扶助料 4,397 千円、物価変動率引き上げに伴う増額分と受給者の増加に伴い特別障害者手当 1,931 千円を増額し、これに伴う歳入として国庫支出金 1,396 千円、県支出金 69 千円をそれぞれ計上しました。

対象者の治療方法変更による医療費の増加に伴い総合支援医療費(更生医療)4,824 千円を増額し、これに伴う歳入として国庫支出金 2,412 千円、県支出金 1,206 千円をそれぞれ計上しました。

障害福祉サービスの利用増加に伴い障害者地域生活支援給付費 22,586 千円を増額し、これに伴う歳入として国庫支出金 2,809 千円、県支出金 1,404 千円をそれぞれ計上しました。

また、平成 29 年度の事業額確定に伴い、障害者医療費負担金返還金 42 千円、障害者総合支援事業費補助金返還金1千円を計上しました。

- (2) 保険年金費で、第 1 号被保険者の産前産後免除の法改正及び学生納付猶予の様式変更に伴うシステムのプログラム修正委託料 768 千円を計上し、これに伴う歳入として国庫支出金 768 千円を計上しました。

福祉医療費で、受給者の増加による医療費の増加に伴い障害者等医療扶助費 20,315 千円、後期高齢者福祉医療費扶助費 12,898 千円、母子・父子家庭医療費扶助費 2,811 千円を増額し、これに伴う歳入として県支出金総額 13,821 千円を計上しました。

- (3) 児童福祉総務費で、平成 29 年度の事業額確定に伴い、児童扶養手当給付費負担金返還金 191 千円、子ども子育て支援交付金返還金 1,292 千円を計上しました。

- (4) 児童措置費で、公定価格単価の改正等により施設型給付費 20,951 千円を増額し、これに伴う歳入として国庫支出金 10,475 千円、県支出金 5,237 千円を増額しました。
- (5) 母子福祉費で、平成 29 年度の事業額確定に伴い、母子家庭等対策総合支援事業費補助金返還金 105 千円、児童入所施設措置費負担金返還金 835 千円を計上しました。

3 教育費関係では、

- (1) 小学校費の学校管理費で、特別な支援を必要とする児童への備品購入費 162 千円を計上しました。
- (2) その他、台風第21号等の被害対応に伴う校舎及びスポーツ施設等の修繕費として、小学校費の学校管理費で 7,838 千円、中学校費の学校管理費で 8,376 千円、保健体育費で 1,800 千円を計上しました。

◎平成30年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

事業勘定の総額で、87,586 千円の追加となりました。

歳出では、平成 29 年度負担額確定による国県支出金返還金(療養給付費等負担金)88,344 千円を計上しました。これに伴う歳入として、前年度繰越金 88,344 千円を計上しました。

◎平成30年度愛西市介護保険特別会計補正予算(第2号)

保険事業勘定で、高額介護サービス等費 10,565 千円、第1号被保険者保険料還付金 1,600 千円を計上し、総額で 5,574 千円の追加となりました。

サービス事業勘定では、介護支援専門員実務研修負担金 51 千円を計上しました。それに伴う歳入として保険事業勘定繰入金 51 千円を計上しました。

◎人件費について

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、農業集落排水事業等特別会計及び公共下水道事業特別会計について、主に人事異動及び平成 30 年の人事院勧告に伴う給料、職員手当等、共済費等で過不足が生じたので、補正計上しました。